

(4面から続く)

せん。高圧ガス保安法における警告や注意表示がエアゾール製品には表示されていますが、爆発火災事故は後を絶ちません。本市消防もイベント等での危険性を周知してはいますが、エアゾール製品は私たちの生活に多く入り込んでおり、子供からお年寄りまで使用しています。エアゾール製品の廃棄方法の観点からだけでなく、エアゾール製品に潜む危険性と正しい使い方を、ホームページを始めと

したさまざまな方法で伝えていくべきと考えますが、当局の見解を伺います。  
消防長 消防本部では、各種イベント会場や夏祭りなどで、火を使用する露店を巡回し、プロパンガスの固定方法、カセットコンロの設置場所や周囲の状況を点検しています。今後は市民に対しても、広報紙、市のホームページで緊急にエアゾール製品に潜む危険性とカセットコンロの使用方法について注意喚起していきます。



### 自衛官募集事務に関する個人情報の提供 今後対応を変えるのか?

沖永 明久 議員 《会派に属さない議員》

安倍首相は、今年の自民党大会において、自衛隊の新規隊員募集に対し、都道府県の6割以上が協力を拒否しているとして、だからこそ憲法に自衛隊を明記すべきと主張したとのことであり、これは市区町村の間違いで意識のなさが伺えますが、自治体が適齢者の個人情報自衛隊に提供しないことが、国に対して非協力的だと非難されなければならぬのではなかろうか。

を越えて積極的な個人情報の提供まで認める一般的な規定はどこにも存在しません。また、本市の個人情報保護条例では、目的の範囲を超えて個人情報を利用し、または実施機関以外の者に提供してはならないと規定されています。こうした点から、適齢者情報の提供要請に応じる法律上の義務は存在しません。現在本市も厳格に閲覧にとどめているのは法の趣旨に忠実な態度であり、何も非難されるようなことはないと思います。今後、この姿勢を変えるつもりはあるのでしょうか。

住民基本台帳法第11条には、国または地方公共団体の機関が法令で定める事務のために必要である場合に限り、住民基本台帳の写しの閲覧を認めると書いてありますが、これ

市民部長 現在の対応を変更することは考えていません。



### 市民緑地制度の周知と活用を

安海 のぞみ 議員 《会派に属さない議員》

市民緑地制度についてホームページには、土地等の所有者と市が契約を締結し、緑地や緑化施設を公開する制度

で、市民の誰もが利用できる公開された緑が提供され、地域コミュニティに支えられた緑のまちづくりを推進するこ

とができるとあります。本制度の周知と啓発により市民の理解と協力を得て、活用を促すべきと考えますが、現状と制度に対する考えを伺います。  
副市長 市民緑地制度活用

新しい公園広場や緑地確保の手法としては、市民緑地制度を活用することも選択肢の一つと考えますが、対象となる土地は300平方メートル以上であり、市内緑化重点地区に土地を見つかることは簡単ではありません。緑地等の用地が確保できるように、今後努力したいと思えます。



### 次世代に向けた学校教育のあり方について

佐藤 弥斗 議員 《ごま明進会》

インクルーシブ教育は、障がいのある無にかかわらず、誰もが望めば合理的配慮のもと、ともに学ぶことができる包括的な教育です。その構築にはハード面、ソフト面の整備が必要で、小・中学校におけるエレベーター設置や医療的ケアが必要な児童・生徒のための看護師配置について、見解を伺います。また、現在、子ども達が抱える課題は、学校だけでは解決が難しく、保護者、地域の方々の連携が重要です。コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の方々が協力し合い、学校運営に意見を反映させる仕組みで、一定の効果が上がっています。本市の取り組みについての見解を伺います。

の負担軽減等から必要と考えられています。現在は昇降機で対応していますが、建てかえ等に合わせ検討していきたいと考えています。医療的ケアについては、現在、看護師の派遣は行っていますが、必要な場合は事前にさまざまな機関と連携の上、可能なことを模索していきたいと思えます。コミュニティ・スクールについては、今後、検討委員会等を設置し、本市におけるあり方や具体的な時期、方法について検討していきます。

児童・生徒への配慮、教職員



### 騒音計を増設し 自衛隊機騒音の実態把握を

加藤 陽子 議員 《会派に属さない議員》

厚木基地の米空母艦載機が岩国基地へ移駐して1年になりますが、栗原中学校に設置の騒音計データによると、2018年4月から12月の騒音回数は2017年同時期の2割減にとどまっています。その割減にもかかわらず、11月の回数も増えています。特に10月、11月は早朝、夜間の時間帯も増えています。

この間、自衛隊機が市内あちこちで旋回し、低空飛行しているのに遭遇してきました。本年2月に海上自衛隊航空機の部品落下事故があったばかりで、過去にも自衛隊機の部品落下事故がありました。緑ヶ丘、入谷等の住民から、旋

回飛行の騒音被害だけでなく、事故の不安を感じるの声を聞いています。米空母艦載機の移駐以後、自衛隊機の飛行が増えているのか伺います。どのように実態を把握しているのか、実態を捉えるために、騒音計の設置を国に要請すること、また市で設置する方向も検討できないのか伺います。

市長室長 自衛隊機の飛行については、もともと認識はしていません。実態把握のための騒音計設置の要請については、今後の騒音発生件数や苦情件数、国の動向等を踏まえ、検討していきたいと考えています。また、市で増設する考えはありません。



### 違いを認めあうことが 人権感覚を育てる

星野 久美子 議員 《日本共産党》

人権とは、人間が人間らしく生きるために生まれ持つべき権利であり、世界人権宣言や憲法に保障されているものです。しかし、昨今の虐待や様々なハラスメントによって踏みこまれていきます。全ての子供たちに、あなたは生きていていい、そのままでもいい、そのまま誇り高い人間だと知ってもらいたいと心の底から願っています。小さなころから人権が自分にもあるということを知ること、自分を認め、他人を認め、違いを認めることは、自分や他人を大切にすることにつながります。そのため、人権に関する教育は大変重要だと考えます。

教育における人権について、教育長の考えを伺います。教育長 学校で大切な人権の考え方は、一人一人の子を大切にいくことだと考えます。友達を大切にし、自分を大切にできる子供たちはお互いを認め、お互いの違いを認め合えるようになるはずで、大切にされた経験のある子は、他の人も大切にしようと考えています。学校は、さまざまな違いを認め、大切にできることを学べる場であると考えています。それらを大人たちが大切に育んでいくことが、学校における人権を尊重することにつながるものと考えています。

## 会議録をご覧ください

座間市議会だよりでは、各議員の文責により質問・答弁・討論の発言の一部を抜粋して掲載しています。詳細は会議録をご覧ください。パソコンやスマートフォンから市議会のホームページでご覧いただけます。また、市役所1階の市民情報コーナー、図書館でもご覧いただけます。なお、3月定例会の会議録は5月下旬ごろから閲覧できます。

(日本共産党、沖本浩二(ごま大志会)、佐藤弥斗(ごま明進会)、安海のぞみ(会派に属さない議員)、加藤陽子(会派に属さない議員)、沖永明久(会派に属さない議員) 討論(3月22日) 吉田義人(自民党いさま)、佐藤弥斗(ごま明進会)、沖永明久(会派に属さない議員)、安田早苗(公明党)、安海のぞみ(会派に属さない議員)、池田徳晴(ごま大志会)、中澤邦雄(日本共産党)、加藤陽子(会派に属さない議員)